



見えないものを見つけ出す

楽しさがある！！



中央警察署 鑑識係
平成24年採用 巡査長
福岡大学 卒業

警察官になったきっかけは？

学生時代に消防団に所属していた経験から、金銭的な利益を求めることなく、人のために尽くして感謝される仕事がしたいと思っていました。

警察官の、悪と戦い「地域の人々を守る」という仕事に魅力を感じ、自分を育ててくれた街に「恩返しをしたい」という気持ちから、福岡県警察を志望しました。

現在の仕事について教えてください。

鑑識の仕事は、被疑者を逮捕したり取調べをする機会は少ないですが、被疑者を検挙して事件を立証する上で、重要な仕事であり、捜査に必要不可欠な業務です。

事件の解明は、捜査員ひとりでは実現することは不可能です。全ての捜査員がそれぞれの役割を全うして達成できるものですので、私は鑑識としての誇りと使命感を持って、その仕事に臨んでいます。自分の採取・作成した証拠資料がきっかけで、被疑者が検挙され、周りの方から「さすが鑑識！職人技やね！」と言われたとき、私は鑑識マンであることに喜びや達成感を感じます。

警察学校での生活はどうでしたか？

警察学校は、正直、精神的にも体力的にも、とてもつらかったです。しかし、熱血教官や兄弟のような同期生の支えがあって卒業することができました。

警察学校は、警察官という社会の模範になる人間を育てようとする場所なので、教官の指導はテレビドラマのように熱いものでした。

また、共に厳しい指導を受けた同期生とは固い絆で結ばれ、今では気兼ねなく接することのできる仲間となっています。そのことを考えると警察学校の経験は、大変良い経験だったと思っています。

休日の過ごし方は？

休日には、趣味である登山などアウトドアを堪能しています。

以前は、夏季特別休暇を利用して、日本アルプスを5日間ほどかけて縦走したり、家族と温泉旅行にいたり、とても充実した休暇を過ごしたこともあります。

警察官を目指す方にメッセージをお願いします。

警察官という仕事は、人の生命・財産に関わる重責を担っているため「覚悟」がいる仕事です。

警察官は、それぞれ役割は異なりますが、「県民の安全・安心の確保」という共通の目標に向かって一生懸命頑張っています。

私は、そんな熱い気持ちを持った仲間と一緒に働けることを誇らしく感じています。

みなさんも私たちと一緒に福岡の街を守っていきましょう！